

図書館だより

第50号

<https://www.library.yachiyo.chiba.jp/>

中学生 高校生向けの本やサービス こんなにあります！

八千代市の図書館には、学生向けの特別な本棚があります。名前は「ティーンズコーナー」
毎月、おすすめ本の展示とポップや飾りで、おもわず手に取りたくなる仕掛けをしています。

* 利用券は無料で作ることができます *

学生証があれば、すぐに利用券を作れます。以前作った利用券を無くしてしまったら、再発行もできます。

* 最新の雑誌を館内でゆっくり読めます *

ファッションやスポーツ、映画、パソコン、いろいろあります。お近くの図書館に置いていない雑誌も最新号以外なら予約を入れて受け取ることができます。

* 読みたい本を探します *

話題の本や読んでみたい本が棚にないときは、スタッフまでご相談ください。八千代市にない本も、他市からお取り寄せできる場合があります。



* ホームページから本を予約できます *

ホームページでパスワードを設定すると、本を検索して予約することができます。他にも、予約の取消しや貸出の延長などができます。

メールアドレスを登録すると、予約の本が準備できたときに、連絡をメールで受け取ることができます。

* ティーンズ向けのホームページがあります *

例えば、部活動の本で何かおもしろい本ないかなあ...
そんな時は、スマホやパソコンから八千代市立図書館のHPにある“ティーンズ”のバナーをクリック！



← ここをクリック

次に Bookリスト をクリック！ すると...



■ 芸術／表現系

- ・演劇
- ・写真
- ・美術
- ・漫才
- ・落語
- ・文芸
- ・映画



■ 球技系

- ・野球
- ・テニス
- ・サッカー
- ・ソフトボール
- ・ハンドボール
- ・バドミントン
- ・ラグビー

こんな風に、興味のある本を検索することができます。
他にも、今月のおすすめ&新着や、みんなの掲示板なども掲載しているので、ぜひ覗いてみてください。

ティーンズおすすめ本

図書館スタッフが自信をもっておすすめする本。ぜひ手に取ってみてください。

『禪ZENスタイルでいこう！』

水口真紀子/著 キーステージ21

勉強や遊びや、部活、バイト、習い事、恋愛、ゲーム、SNS...やりたいことばかりのティーンズの皆さん。思い悩んで足踏みなんてしたくないのに、悩みは尽きず、人生を左右するような重大な事件、事故にあうこともあります。そんな辛いときに「禪」の思想を役立ててもらうための「禪語」を、学生生活の1年の流れとともに解説している本です。

ズバリこれが正解で、こうすれば大丈夫！なんてことは書かれていませんが、柔軟な考え方や発想のヒントになり、ちょっと心が楽になります。かつてティーンズだった大人にもおすすめの一冊です。

(大和田 かたつむり)

『20歳(はたち)のソウル』

奇跡の告別式、一日だけのプラスバンド

中井由梨子/著 小学館

甲子園千葉大会、スタジアムに響く「市船ソウル」。この応援曲を作曲した浅野大義さんはガンを患い、闘病の末、20歳で他界した。告別式には、市立船橋高校・吹奏楽部のOB OGが164人も集まって市船ソウルを演奏して彼を見送った。

なぜこんなにも沢山の友人が駆けつけてくれたのか。毎日の練習で、家族より長い時間を一緒に過ごす部員たち。自分とも仲間とも嫌な部分から逃げずに、正面から向き合わなければ、3年間をやり遂げることはできない。でも、乗り越えた先の絆は人生最大の宝物になる。

実話なので読むのは辛いし、身近な地名や学校名がでてくるので、より死を近く感じるかもしれないが一杯生ききった彼の奇跡を辿ってみてほしい。

(勝田台 小春日和)

『地獄堂霊界通信』 1~8

香月日輪/著 講談社

この本は町内で有名な「イタズラ大王三人悪」と呼ばれる、てっちゃん、リョーチン、椎名の小学生が主人公である。この三人組があるきっかけで町はずれの薬屋、通称「地獄堂」のオヤジと親交を持ち、異世界の力を手にしたことにより幽霊や妖怪等と関わっていく物語である。

一見すると王道なホラーファンタジーのように思われるがそうではない。主人公たちに立ち向かってくるのは、人間の暗い部分や、厳しい現実であったりする。それを小学生たちが真正面に受け止め、答えを出していくところがこの本の魅力である。

子どもと大人の間にいる読書にも、その問題を考えてもらいたいので、是非読んでいただきたい。

(中央 となりのインド人)

『気がつけば動物学者三代』

今泉忠明/著 講談社

『ざんねんないきもの事典』など、動物に関する本の監修も手がける今泉忠明さんは、父・兄・息子と親子三代にわたって動物を研究している動物学者です。イリオモテヤマネコやニホンカワウソの調査、幻の動物である雪男の探査などの動物学者の仕事の様子が、調査の途中で命を落としかけたエピソードなども交えて、気さくでわかりやすい文章で書かれています。

とっつきやすい語り口ですが、標本作りの様子が具体的に描写されているので、解剖や血が苦手な人には読みづらいところがあるかもしれません。動物学者の仕事の面白さと、自分の信じる道をコツコツ進むことの大切さが伝わってくる一冊です。

(八千代台 しろくま)

『楽しい日本の恐竜案内』

平凡社

日本で発見された恐竜化石を訪ね、日本各地を旅しよう！恐竜の全身骨格が発見され話題の北海道むかわ町から、新種が数多くみつかった福井県勝山市、関東唯一の恐竜の里・群馬県神流町まで、5地域17種類の恐竜とゆかりの場所を解説しています。

太古の日本にはどんな恐竜が生息していたのか、恐竜の基礎知識から最新の研究成果まで、世界に負けない日本の恐竜の“面白さ”・“凄さ”をイラストや旅ルポとともに紹介しています。また、研究者だけでなく、画家や作家たちもエッセイを寄せているので、読み物としても楽しめます。

(緑が丘 キラキラ)



【図書館だより第50号記念】

おかげさまで、図書館だよりも第50号となりました。これからも、思わず足を運びたいような図書館の魅力方を、いっぱい紹介していくつもりです。

【編集後記】

人には相談しにくい人間関係や進路のこと。本の中には、あなたの背中を押してくれる言葉がいっぱい詰まっています。

今の気持ちに沿うような言葉の宝物を、ぜひ見つけにきてくださいね。

(さ・や)



令和元年7月

発行:八千代市立図書館

編集:勝田台図書館